

「絵はがきの別府」展

ご挨拶

『絵はがきの別府 ー古城俊秀コレクションよりー』（古城俊秀監修・松田法子著、左右社、2012年）は、別府温泉を写した明治末期から昭和初期の写真絵はがきを素材にします。

この展覧会では、本に収録した650点余りの絵はがきをほぼ全て、映写やパネルによって会場に展示します。

別府は、温泉場と温泉関連業を基盤にして明治期には空間的にも社会的にも大幅な拡大を遂げ、国内最大の温泉町に成長した特異な都市です。

『絵はがきの別府』では、このような特徴をもつ別府を対象に、その歴史上の多様な姿を写し取って各地へ流通させた写真絵はがきを、別府の都市史とともに追いかけてきました。

この展覧会場「旧草本商店」は、戦前期に建てられた店舗・倉庫建築です。ちょうど絵はがきと同じ頃に生まれた街の建物を舞台に、絵はがきの空間世界を提示できることはたいへん幸いでした。

3面あるスクリーンは手前から、『絵はがきの別府』の第1章「渚と泉」、第2章「大別府」、第3章「別府とその世紀」に対応しています。

会場に設置している本をガイドブックがわりに手に取ってお進みください。

「絵はがきの別府」へ、ようこそ。

2012年11月13日 松田法子